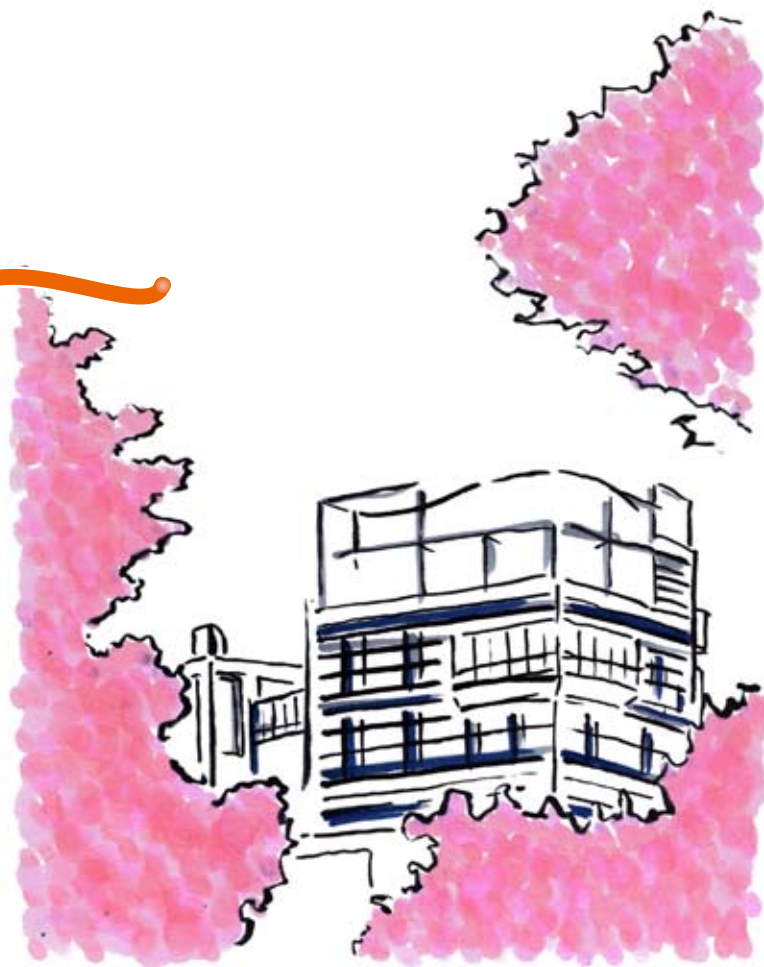


# そよ風

- 1 平成 24 年度テーマ別改善運動発表会
- 2～3 第 21 回東大和療育センター院内研究報告会
- 4 平成 25 年度事業計画
- 5 平成 25 年度主要行事計画
- 6 療育活動
- 7 QOL 向上プロジェクト
- 8 春の発表会・研修会参加報告
- 9 院内研修
- 10 人事異動



## ■ ■ 平成 24 年度テーマ別改善運動発表会に初参加！ ■ ■

テーマ別改善運動委員会事務局 山崎 治

1 月 31 日 (木) に都庁第一庁舎大会議室において、病院経営本部、東京都保健医療公社及び福祉保健局の病院・医療施設による第 22 回「テーマ別改善運動」発表会が開催されました。「テーマ別改善運動」は、患者サービスの向上や経営の効率化などを目指し職員が自主的に身近な改善運動に取り組む活動で、今回は関係病院等全体で 212 のサークルが活動し、各代表 18 サークルの発表となりました。

東大和療育センターは初めての参加で、先の「第 1 回テーマ別改善運動 (QC 活動) 院内発表会」で最優秀賞の「身だしなみ整え隊」によるテーマ「利用者の身だしなみをきちんと整える」がセンター代表として大きな舞台に立ちました。第 1 病棟指導員の矢野さんが利用者のケアの質の向上についての改善取り組みを発表し、審査員の方々からもケアの大切さや日常の努力への評価などの意見をいただきました。他施設の発表では診療報酬請求に係るシステム開発や給食レシピ本の作成、検査補助具の作成など現場でのさまざまな課題に対する取り組みの発表が行われ大変参考になりました。発表内容の報告書は東京都病院経営本部のホームページに掲載されていますので是非、ご覧ください。



発表者：第 1 病棟指導員矢野さん、壇上左は共同研究者高井主査

## ■ ■ 第 21 回 東京都立東大和療育センター院内研究報告会 ■ ■

開催日：平成 25 年 2 月 27 日 (水)

当センター開設当初から開催している院内研究報告会も今回で 21 回目を迎えることとなりました。毎年、日々の業務改善状況を確認しつつ、研究成果の発表を通して、学術的資質の向上とセンター内外の評価を受ける機会としています。

今回の報告は、9 演題の口頭発表となりました。特に優秀な研究については、外部学会等への発表および論文を専門誌に発表するようにしています。近く全演題を論文の形で補正し、研究報告集第 21 巻として発刊する予定です。

### ◆ 最優秀賞

『長時間安静により歩行機能が低下した重症障害者に対する端座位と伏臥位療法の効果』  
第 1 病棟 高田いずみ 他

### ◆ 優秀賞

『感覚運動期にある重症心身障害児に対するパソコンの活用』  
リハビリテーション科 水野 充美 他

### ◆ 努力賞

『筋緊張が強く人工呼吸器使用している重症心身障害児(者)の伏臥位の取り組み』  
第 2 病棟 前田 悟 他

『利用者とのコミュニケーションをさらに深めることを目指して』  
あけぼの学園療育部 森田 勝敏 他

### ◆ その他の演題

『睡眠障害のある重症心身障害者 A さんへのタッチングによる援助を試みて』  
第 3 病棟 藤井 克味 他

『睡眠障害を抱える利用者に対するアロマセラピーの有用性の検証』  
第 4 病棟 江崎 大介 他

『頭部外傷から経管栄養となった重症心身障害者の摂食・嚥下機能の改善を目的とした間接訓練の継続実施』  
通所係 小田 由紀 他

『成人重症心身障害児・者の機能の変化～居住環境による比較検討～』  
医局 曾根 翠 他

『認知発達をもとに相応しい関わりをめざして』  
看護部生活支援科 稲嶺 博子 他



### 第 1 病棟看護師 高田 いずみ

第 21 回院内研究報告会で最優秀賞をいただきました。今回、賞をいただくことができたのは、利用者さんご自身が研究の取り組みに協力して下さり、最後まで私たち 1 棟の職員とともに頑張ってくださいましたお陰です。また研究を行うことを快く承諾して下さり、いつも 1 棟職員を見守り、励まして下さったご家族の存在があったからこそ賞をいただくことができました。本当にありがとうございました。

テーマを決める際には “身体機能が低下した利用者さんに何かできることがあるのではないのか” という思いから今回のテーマを選びました。研究を進めていく上では利用者さんの安全を第一に考え、複数の職員が側に付き添って実施できるよう配慮しました。病棟職員や他部署の方々の協力を得て、研究としてまとめることができました。ご指導、ご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

今後も利用者さんが健康に過ごすことができるように、研究の取り組みを継続していきたいと思っています。



## ■ ■ 平成 25 年度事業計画 ■ ■

当センターは、重症児の年長化に対応するとともに、短期入所など在宅の重症児者への支援にも力点を置いた次世代型重症児施設として開設されました。

運営については、開設当初から社会福祉法人全国重症障害児（者）を守る会が東京都の委託を受けて管理運営を行ってきましたが、平成 18 年度以降は守る会が東京都の指定管理者として指定を受け、平成 23 年度の更新を経て平成 27 年度まで指定管理者として運営を行うこととなっています。

長期入所は、開設以来 18 歳以上の利用者が継続して利用していますが、利用者の加齢などに伴い、人工呼吸器などの濃厚な医療が必要な利用者が増加しています。短期入所は、繰り返しの利用者に加え、新規利用者の受け入れにも力を入れています。近年は人工呼吸器、胃瘻など濃厚な医療ケアが必要な年少の重症児の利用希望が増加しています。通所は、多摩地区の 8 市から受け入れ、定員 30 名で運営していますが、できるだけご家族の希望に沿うよう送迎の充実などに取り組んでいます。また、外来については、患者の診察までの待ち日数の短縮を図るため、診察室の整備、効果的な運用など診療能力の向上に取り組んでいます。

さて、平成 25 年度も引き続き看護師を中心とした職員の確保・定着対策を進め、円滑な事業運営に努めます。また、東大和療育センター中期計画をもとに作成した年度別実施計画を踏まえ、計画的な事業推進を図ってまいります。

平成 25 年 4 月 1 日に施行される障害者総合支援法等に的確に対応するとともに、関係機関との連携のもと、よりよい利用者サービスの提供の実現を目指して、全職員が一丸となって事業推進に取り組んでまいります。

### 1 運営方針

- (1) 中期計画を着実に推進し、安全で安心できる、より質の高い療育サービスを提供します。
- (2) 丁寧で分かりやすい説明と接遇の向上に努め、納得と信頼ある施設の実現を目指します。
- (3) 短期入所の利用率向上、通所のサービス向上などを通じて、より一層在宅支援事業の充実強化を図ります。
- (4) 職員の能力向上にむけた制度づくりを進め、高度かつ専門的な知識、技術を身に付けた人材を育成していきます。
- (5) 利用者ニーズや社会情勢の変化などを把握し、指定管理者制度を活かした効率的かつ効果的な事業運営を推進します。
- (6) 関係法令及び各種規則・マニュアルなど、定められたルールを遵守し、正確で迅速な情報の共有化のもと、公平かつ公正に業務を遂行します。

### 2 事業内容

- (1) 入所・入院（医療型障害児入所事業／療養介護事業）

定床 128 床

1. 長期入所は、92 床で運営します。

- 2. 短期入所は、28 床で運営します。
- 3. 医療入院は、8 床で運営します。
- 4. 短期入所、医療入院は、枠にこだわらず、日程調整により空床を利用してより多くの在宅者が利用できるよう、稼働率向上に努めます。

(2) 外来診療（診療事業）

- 1. 一日当たり 150 名の事業規模で運営します。
- 2. 引き続き診療室、手術室の効率的な運用により待ち日数の短縮を図ります。
- 3. 地域の医療機関との連携を促進し、心身障害児者の専門医療に対する要望に十分応えられるよう努めてまいります。

(3) 通所（生活介護事業）

- 1. 在籍者 37 名、一日受け入れ人数 30 名で運営します。
- 2. ご家族の負担を軽減するため、通所バスは 5 台で送迎を実施します。
- 3. 引き続き受け入れ時間延長を行うなどにより、サービス向上に努めていきます。

(4) 在宅支援

医療ニーズの高い在宅の障害者が増加しているとともに、これまで在宅で障害者を支えてきた介護者の高齢化が進んでいます。このため、効果的、効率的に在宅生活を適切にサポートする体制づくりとして在宅支援室を開設し、地域に開かれた施設としてさらなる充実に努めます。

(5) 地域社会との連携

- 1. 市町村や特別支援学校等の健診事業への協力を通じて、地域医療の充実と向上に寄与します。
- 2. ボランティアの積極的な受け入れや入浴施設、プールの施設開放事業の推進、さらには地域への普及啓発活動などの実施を通じて、障害児者を地域で支え合う基盤を築いていきます。

## ■ 平成 25 年度主要行事計画 ■

### 病棟・通所行事

#### ●大行事

- 1 夏祭り 8月 2日（金）
- 2 東大和フェスタ 10月 12日（土）
- 3 クリスマス会 12月
- 4 ゆったり通所デイ 6月～7月  
3 班に分けて実施する。

#### ●小行事

- 1 季節の行事

七夕、夕涼み、お月見、節分、ひな祭り等

- 2 バイキング  
年間 1～2 回、各部署毎に企画し実施する。
- 3 病棟合同活動  
①プラネタリウム鑑賞会  
②映画鑑賞会

### ボランティアによる音楽会

- 1 多摩スマイル吹奏楽 6月
- 2 駒澤大学高等学校吹奏楽 10月
- 3 アンサンブルむさし 11月

### リハビリテーション科イベント

- 1 初夏のダンスパーティー 6月 26日（水）
- 2 ポッチャ大会 10月 24日（木）
- 3 春の発表会 3月 12日（水）

### 栄養科行事食

- 1 お花見弁当 4月
- 2 こどもの日 5月 5日（日）
- 3 お楽しみ弁当 6月
- 4 七夕食 7月 7日（日）
- 5 土用の丑の日 7月 22日（月）
- 6 開設記念日 8月 1日（木）
- 7 夏祭り 8月 2日（金）
- 8 秋分の日 9月 23日（月）
- 9 東大和フェスタ 10月 12日（土）
- 10 文化の日 11月 3日（日）
- 11 クリスマス会 12月
- 12 クリスマス食 12月 24日（火）  
25日（水）
- 13 年越しそば 12月 31日（火）
- 14 おせち料理 1月 1日（水）  
～ 3日（金）
- 15 七草 1月 7日（火）
- 16 節分 2月 3日（月）
- 17 バレンタイン 2月 14日（金）
- 18 ひな祭り 3月 3日（月）

■日程は変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

## 療育活動

第 1 病棟いっとくんの

### 「節分レポート」

2月3日(日)節分の日、第1病棟では、和太鼓けやきさんの演奏と、今年の年男・年女による豆まき、そして最後はスペシャルデザートを楽しみました。

それでは、お写真でその時の様子を少しご紹介します。

ダイルーム



### 和太鼓演奏

大迫力の和太鼓演奏☆音が身体に響きます!!

いっと君

### 豆まき



今年の年男

鬼は一そと!!  
福は一うち!!



いっと君  
また次回がありましたらお楽しみに!!



お部屋前

### デザート

デザートは恵方巻ならぬ、某有名コンビニのロールケーキ☆

## 第 3 病棟 B 級グルメグランプリ開催 !!

第 3 病棟指導員 宮越 彩

2月中旬、第1回・第3病棟B級グルメグランプリが開催されました。出店したのは、味噌おでん、青森せんべい汁、たこやきの3店舗です。

それぞれの店主手作りの看板や、はっぴ、はちまきで、会場の雰囲気は本家に負けないくらい気合いが入っていました。利用者の方々には、3品食べて一番おいしかったと思うメニュー、表情の変化などの反応がみられたメニューに投票していただきました。味噌の味が染みた大根、具たくさんさんのせんべい汁、特別にチーズを入れて焼いたたこやき…ダイルームがいい匂いでいっぱいになっていました。召し上がった3棟の皆さんの反応は…にっこりと笑顔を見せてくれた方、ソースの濃い味にビックリした方など様々でした。

見事、グランプリに輝いたメニューは……たこやきでした！3店舗の店主にとっては、利用者さんの様々な反応がみられたことが、何よりも嬉しく、楽しい時間となりました。次はどこのご当地B級グルメが食べられるでしょうか？第2回の開催も楽しみです♪



## QOL 向上プロジェクト

東大和市郷土資料館へ ～合同プラネタリウム鑑賞会～

第 2 病棟指導員 内野 強

1 月 31 日 (木) 穏やかな晴天の中、通所バスを利用し資料館へ向かいました。到着して間もなく、他病棟・通所の方々とプラネタリウムをバックに記念撮影、久しぶりのお出かけもあってか皆さんとってもよい表情でした。

館内では、座れる方はリクライニングシートに座っての鑑賞です。次第に照明が落ちて真っ暗になりました。360 度のスクリーンには、資料館から望むこの時期の夜空が映し出され、オリオン座を中心に星や星座の由来が語られていきました。満天の星空に囲まれて、皆さん宇宙に浮かんでいるような気持ちになったのではないのでしょうか。

続いての上映は、以前映画でも話題となった「宇宙兄弟」のアニメ上映です。映画のスクリーンと違い、後方にも画像が動いていて不思議な感じでした。隣の席の利用者さんに、「ほら、後ろにも映っていますよ」と声をかけると、頭上や後ろを見渡していました。

帰りのバスの中で感想を尋ねると、リラックスした表情や、笑顔で返事をいただきました。普段なかなか見られないプラネタリウム体験で、皆さん思い思いに楽しまれたようでした。



## ♪ミニコンサート♪



## 春の発表会

リハビリテーション科理学療法士 酒井 理恵

ようやく暖かい陽気になってきた 3 月 6 日 (水)、リハビリテーション科では今年度も春の発表会を開催しました。

エンジョイグループの皆さんはサウンド・オブ・ミュージックのミュージカルにのせて、それぞれの特技を披露しました。国立音大の学生さんも参加してくださり、素敵な歌声とピアノ演奏も印象的でしたね。海組の皆さんはスワンソングという曲で、白鳥をイメージしながらバレエダンサーのように車椅子ダンスをしました。てくてくグループの皆さんは、普段がんばっている歩行を、ファッションショーをしながら披露しました。サラダグループの皆さんも、グループ活動で楽しんでいるオリジナル歌あそびを披露しました。観客の前だったこともあり、皆さん少し緊張していましたね。星組の皆さんは、お得意の手合せを取り入れたフォークダンスを元気いっぱい踊ってくれました。カラフルな手袋がとっても春らしかったです。そして最後のコケぴよグループの皆さんは、エプロンをつけて



お花屋さんになり、花器にお花を生けました。たくさんのお花で、会場に春を運んで来てくれましたね。

今年も見学に来てくださった利用者さん、親御さん、職員の皆さん、参加してくださった国立音大の学生さん、本当にありがとうございました。また来年もお楽しみに！

## 研修会に参加して

事務部医事係 緑川 治男

毎年 1 月の終わり頃、社団法人 日本重症児福祉協会主催の『全国重症心身障害児施設職員研修会<施設管理コース>』が開催されます。この研修会は全国の重心施設事務職員が集まる研修会です。今年は 1 月 23 日 (水) ~ 25 日 (金) まで大阪の山西福祉記念会館で開催されました。

研修会自体はおおまかに 2 部構成になっていて 1 つは講演、もう 1 つは事務担当者分科会となっています。

講演はその時々テーマに応じて話しを伺います。今回は「障害保健福祉行政の動向について」、「BCP (事業継続計画) 策定にあたって」、「社会福祉法人の新会計基準について」の各テーマでそれぞれ講演が行われました。

事務担当者分科会では、各施設で行っている業務毎の担当者に分かれ話し合いを行います。日頃から疑問に思っていることや、現在各施設で起こっている問題点を同じような施設間で話し合う事ができる場です。私の参加した医事グループでは、電子カルテの検討・導入状況や未収金対策について主に話し合いました。特に電子カルテについては各担当者とも興味津々でした。

この研修会に参加して思うことは、他施設との交流の大切さです。数の少ない重心施設において 100 施設前後の職員が一堂に集まる機会は年に何回もあるわけではありません。横の繋がりを密にし、気軽に情報交換・相談を行える人がいる事は私にとって一番の財産になることだと思います。





---

---

## そよ風第 72 号

---

---

編 集 院内報そよ風編集委員会  
発行日 平成 25 年 4 月 15 日  
発 行 東京都立東大和療育センター  
東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10  
☎ 042-567-0222  
印 刷 有限会社 はじめ印刷  
☎ 042-560-3031

---

---

---

---

## 編集後記

---

---

今年の桜は思いがけず早い開花となりました。共に働いた職員さんが異動され、また新しい仲間を迎えて新年度の始まりです。利用者さんを真ん中に良いチームを作り上げていけたらと思います。(H.S)

1 年間広報委員としてそよ風の編集に携わり、イラストや 4 コマ漫画を描いてきました。そよ風を読んで下さる方の楽しみになっていけば幸いです。これからも引き続き描かせていただこうと思っていますので、よろしく願いいたします。(S.T)